



十日町 Tokamachi

市議会だより

市民と議会の
ネットワーク

平成21年1月25日発行

■発行 十日町市議会 十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3111 FAX.025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.niigata.jp TEL.025-757-3119 (直通)
■編集 議会だより編集委員会

No.16

◆一般質問17人

—— 医療・保健・農業対策等 ——

関連記事2～7ページ

◆指定管理者の指定

—— 「十日町市総合体育館等スポーツ施設」など52施設 ——

施設一覧は9ページ



ケヤキとわらによるバイトウ作り（奇祭・大白倉バイトウ）

Contents

今号の内容

- ▶ 一般質問 2～7
- ▶ 常任委員会審査結果 7
- ▶ 会派通信 8
- ▶ 補正予算・主な事業 8～9
- ▶ 議決結果 9
- ▶ 議会日誌 10
- ▶ 議会レポート 10



節季市（チンコロ市）



議員定数に関する 議会運営委員会報告

各会派から選出された議員で構成する議会運営委員会では、今年4月、「初めて全市を一つの選挙区として執行される十日町市議会議員選挙は、30人の定数で行う。」とした合併協議に基づく旧5市町村議会の議決を尊重するとともに、定数の見直しについては、改選後の議会において検討することとしました。

また、現在の定数40人が来期は10人減り、30人となることから、現在4つの常任委員会を3つに減らすことに決定しました。

■議会運営委員会

委員長 吉楽正実
副委員長 宮嶋正一
委員 阿部晃一
鈴木善雄
太田祐子
涌井充弘
庭野雅弘
尾身隆一
山本耕一
桑原清一

12月定例会 一般質問

こころが 知りた

12月5日、12月定例会が招集され、12月15日までの11日間にわたり開催されました。

人権擁護委員の推薦、物品購入契約の締結、市道の廃止、変更及び認定、指定管理者の指定（26件）、各種条例の改正、一般会計と7つの特別会計及び水道事業会計の補正予算などが提案、審議されました。

一般質問では17人の議員から市政についての質問がありました。（一般質問については、紙面の都合上要旨を掲載しています。）

環境政策について

太田祐子 議員

質問1

① バイオマスタウン構想・②地球温暖化対策地域推進計画の策定を行っているが、その進捗状況と市民啓発の方法について、③生ごみ対策とレジ袋対策について伺う。

答弁1

①賦存量調査によると、廃棄物系バイオマスの利用率は65・7％であり、これを90％以上に高めるために、キノコの廃菌床や建設発生木材等を中心に利活用を図ることを考え

ております。啓発につきまして、市民の関心、理解を深めるため、構想の概要版を全世帯に配布いたします。

②当市の人口一人当たりの年間排出量は5・27トンであり、産業部門の排出量が少ないことから、全国平均のほぼ半分という状況であります。市の特性を生かし、雪エネルギーや温泉熱の利用、森林のカーボン・オフセット及びリユース食器の活用などを積極的に取り入れていきたいと考えております。

市民へは、市報やホームページで周知、啓発を図り、市民環

境会議と協力しながら、各家庭でできる取り組みも行っていきたいと考えております。

③生ごみは、収集しない理由書の添付や町内への文書回覧をお願いしておりますし、事業所への周知も図っていきたいと考えております。レジ袋対策は、関係機関との情報懇談会を開催するとともに、市民アンケートなどの意向調査を踏まえ、平成21年4月からの無料配布廃止に向けて取り組んでいくこととしております。



市役所に設置したペレットストーブ

で十分な審議もせず、最大数の定数を当てはめて定めた30人のままで実施したら、平成25年まで全国一の議員数の市になってしまう。

人口10万人に近い市でも、80％以上が20人台に大幅に削減し、県内20市の中で5番目に借金の多い当市が、県内一多いのも市民は認めないと思う。

市長は自浄作用能力を失った議会・議員に対し、行財政改革を司る首長（大統領制）の責任に於いて、市民の思いを汲み、強い態度で見直しを求めるべきと思う。これまでの答弁では正當な根拠がなく答弁になっている。再度伺う。

答弁1

さまざまなデータやいろいろな方のご意見を交えながら、当市の次期市議会議員選挙における議員定数を減らすべきであるとの考えでありますが、私の考えは、市議会の9月定例会で答弁したとおりであります。また、この件につきましては、当市議会でも議論されているとお聞きしております。

決議機関であります議会のルールにのっとりまして議論いただくべきであると思っており、改めてお答えすることはございません。

議員定数は 4月までに見直すべし

根津東六 議員

質問1

来春4月の十日町市議選は、4年以上も前の合併協議

道州制と 2014問題について

涌井 充議員

質問1 道州制について市長はどう受け止め、どう考えているのか伺う。

答弁1 地方分権を加速させ、力強く効率的な政府の実現を目指すものと認識しております。

国県からの権限移譲もさらに進み、市の役割は重要になるものと考えております。今後一層行政能力の向上と行財政基盤の強化を図っていかねければならないものと考えております。

質問2 道州制を睨み、広域行政での当市の海外戦略について伺う。

答弁2 他の地域にはない十日町ブランドの形成を進め、海外にも通用する魅力のある地域づくりを進める必要があります。

増えつつある外国人観光客の誘客にも一層取り組んでいく必要があると考えております。

質問3 2014年問題について市長はどう受け止め、考えているのかと、市としての対策を伺う。

答弁3 極めて重要且つ難しい課題であり、残された時間の

中で、取り得る全ての手段を講じていきたいと思っております。現時点で、市として発表できる具体策はありません。環境問題を考える上でも、鉄道の重要性を認識することが大切であります。鉄道事業者の健全経営が、将来に渡って維持できるような利用者の増加に努めることが最も大事な視点であります。

また、市民検討会議により議論を深めながら、来年度前半には市としての問題への対応を示したいと思っております。

米国発・経済危機 への対応策について

庭野茂美 議員

質問1 市では緊急対策会議を開き、低迷が続く現状への対応を話し合われたところですが、当市として講ずる経済活性化策や雇用対策について伺う。

答弁1 除雪委託業者への待機料前払い、雇用に伴う設備投資等に対する支援制度の活用による雇用確保に努めております。

今後も景気の動向に注視しつつ、状況に応じた多様な取り組みを行っていききたいと考えております。

質問2 ついに北陸新幹線が開業する2014年まであと6年となってしまう。ほくほく線の生き残りに向けた具体的な対応策をお聞きのする。

答弁2 市では、ステップアップ委員より判断目安となる提言を頂きました。県は対策戦略チームを設置し、アンケートと対応策のとりまとめ作業中であります。また、県内での連続フォーラム開催により、問題の重要性を呼びかけてまいりました。

質問3 遅れに遅れている旧十日町市街地の新住所表示の前段となる町界・町名整理事業の着手と、地籍調査の実施時期について伺う。

答弁3 住所はわかりやすいということが一番大事なことであります。その意味からも地籍調査とあわせ、町名町界整理も進めたいと思っております。来年度には、地域協議会や町内会など説明会を開催し、ご理解をいただきながら1年でも早く新しい住所地表示となるよう事業を進めていくつもりであります。

特別支援学校高等部と 除雪について

仲嶋英雄 議員

質問1 十日町市は、歴史に幕

を閉じる学校が4校もあり、教育の火が消えていくような状況の中において、川西高校への特別支援学校高等部の設置に対し、市としてどのような支援を考慮するのか。川西高校の地域の学校としての今後あるべき姿、2学級の維持存続を願いたい。



県立川西高等学校

学級を持つ学校として、学校の普通科生徒との交流、地域の小中学校や住民と積極的にかかわる特色ある学校を目指すことを期待しております。

質問2 長靴の丈も13cmしかないが、除雪に対する考え方・体制はどうか伺う。

答弁2 生活環境と利便性向上のため、効率性のみでなく、小まめな対応を図ってまいります。

質問3 教育・水・雪を克服してほしいが、市長の熱意の程をお聞かせ願いたい。

答弁3 地域づくりは人づくり、将来に役立つ教育に力を入れてまいります。水の持つ偉大な力を大いに利用し、克雪だけでなく、利雪がこの地域で生き残る大事な要素であると思っております。

安心して受けられる 介護保険制度

羽鳥輝子 議員

質問1 市内3か所にある地域包括支援センターの、高齢者総合支援サービスにおける現場の課題や運営収支状況について伺う。

答弁1 地域包括支援センター

の収支状況であります。委託している2つの地域包括支援センターの平成19年度決算額を見てもみすと、1カ所で1,900万円ほどとなっております。

地域包括支援センターの業務は、3人の職員で行っていたいておりますが、高齢者虐待など処遇が困難なケースが年々多くなってきたことから、平成21年度からの基本事業委託料については見直しを行う予定にしております。

質問2 特定高齢者の選定や、認知症を支える体制など、介護予防事業について、2009年の改定を控え、どのような対応を進めていく考えか伺う。

答弁2 生活機能評価の結果により、医師の指示で運動や口腔機能向上あるいは栄養改善や認知症予防事業への参加を勧めたり、予防の講演会や教室などを実施しております。

質問3 小規模多機能型居宅介護施設が注目されているが、現状と今後の取り組みについて伺う。

答弁3 通い、訪問などを組み合わせた介護サービスの満足度や職員と利用者及び家族との触れ合いなど、地域密着サービスとして高評価を得ております。

在宅介護を支える有効なものとしてさらなる充実を図ってまいります。

とおかまち応援寄附金の進展は如何に

近藤紀夫 議員

質問1 これまでの寄附の実績について伺う。

答弁1 6月16日の条例施行以来、11月末までの5か月余りで、30人の方から約2,192万円のご寄附をいただきました。

10の応援メニュー別

の内訳では、大地の芸術祭が4件で、2,008万円、市長におまかせが18件で86万円、子供・高齢者・障害者にやさしいまちづくりが6件で48万円、芸術文化活動の振興が1件で20万円、自然環境の保全が2件で15万円などとなっております。なお、市及び広域事務組合職員817人から、教育や子育て支援を目的に2,270万円の寄附を受け入れる予定となっております。

質問2 啓発活動状況について伺う。



メニューは10種類

答弁2 市報やHPで募集を呼びかけるとともに、チラシを各種イベント、同窓会や後援会に配布しました。さらに、12月からはヤフーでのクレジット決済も可能になりましたので、メールでの申し込みも積極的に受けつけ、より寄附がしやすい環境を整備しました。大地の芸術祭

に限ると、財団法人文化・芸術による福武地域振興財団が、ふるさと納税のポータルサイトを開設するとともに、全国に向けて幅広く寄附の呼びかけをしていただいております。

国民健康保険とドクターヘリ法について

宮沢幸子 議員

質問1 特別な事情がないのに保険税の滞納が一定期間続きますと、保険証が短期証・資格者

証になります。特に資格者証では病院窓口で全額を負担しなければならず、受診の抑制につながりかねません。相談体制の充実など扶養家族への対応を伺う。

答弁1 国保担当部署においては、保険証の更新時に納税相談を実施、収税担当では訪問、電話の中で相談も受けております。相談時には、家庭のご事情などもお伺いしておりますが、税

の公平性という大事な観点もあり、進展がない場合にはやむなく資格者証を交付しております。被扶養者全員を資格者証の除外対象とすることは、収納対策の面からも考えておりません。

質問2 近年急速に全国整備が進んでいるドクターヘリは、過疎化に対応でき、地域医療の平等性確保からも重要です。市長の見解を伺う。

答弁2 住民の安全、安心に寄与するものであり、必要だと思

いますが、事業を実施する県と要請を受ける第3次救急医療機関の関係もありますので、動向を見守っていきたいと考えております。今後医療の高度化に伴ってヘリコプターの使用頻度が増加することも考えられますが、ヘリポートについては、病院敷地の内外、あるいは救命救急機

能を備えた基幹病院へのドクターカー運用も含めて、県との協議の中で方向づけをしていきたいと考えております。

安心して住める地域・耕作放棄地

村山邦一 議員

質問1 人々の暮らしの環境条件は、地域によって千差万別であるため、住民の安全安心の暮らしは、一義的には地方自治体において住民と行政との協働によって実現すべきである。

そこで集落安心づくり事業を、保安要員制度、冬期間の生活道路確保、及び要援護世帯等の支援事業を総合的なものととらえ、国・県制度も取り入れて市の特色ある施策を作り上げた「集落福祉保安要員制度」(仮称)を提案する。

答弁1 地域内で支え合うことに意義があり、確実に浸透しております。今後も関連事業の拡充につぎましては、どのような方法があるか前向きに研究し、私どもの実態にあった制度をつくりだしていくつもりで向ってまいります。

質問2 耕作放棄地解消の積極

的な取り組みは、優良農地を確保し農業振興をめざし多面的機能を生かすことになると思うが。

答弁2 多額の経費をかけて条件不利地の基盤整備を進めても、担い手が確保されなければ放棄地拡大を止めることは難しいため、既に放棄地となった農地の復元ではなく、今ある優良農地をいかに存続していくかを主眼にすべきと考えます。各地区や集落において農地の総合的な利用計画を協議し、利用方法と担い手確保対策を同時に進めていくことが必要であり、意欲ある地区や集落に対しては、積極的な人的支援を行ってまいります。

病院問題・JRRの違法取水について

安保寿隆 議員

質問1 ①検討会の報告書案の到達点をどのように評価するか。②報告書案は、これまで市が提起してきた高度医療との間に距離があると思うが、その実現はどのように図るのか伺う。

答弁1 ①中核病院としてのあり方や医師等確保などを踏まえ鋭意検討された結果であり、医師やスタッフの皆さんの努力を

基盤としてよりレベルアップした地域医療を担っていただけの内容と考えております。②経皮的冠動脈形成術が医師確保の面で無理とされ、慢性腎不全が急性時と入院時の対応に留めたことを除き、概ね記載されているものと思っております。これが実現できるよう努めたいと考えております。

質問2 ①JRRが10年間で違法に取水した量は1.8億トンとしているが、電気料に換算するとどれくらいか。②JRRは、河川法違反とともに昭和59年に市と国鉄との間で結んだ協定に違反していないか。③ペナルティとして、全国的に例のある取水停止処分を求められないか。

答弁2 ①JRR報告に基づく、概算で3,900万KWHとなり、一般家庭1万軒を1年間賄える量となります。

②維持流量を毎秒7トンに改善するとの項目に明らかに違反しており、市としても推移を見ながら対応を検討したいと思っております。③概要が明らかになつておらず、市民感情も十分に捉えながら対処してまいります。取水取消しも視野に置きながら進めなければならないと思っております。

料理スクール誘致と振込み詐欺防止策は

小林正夫 議員

質問1 自然食を中心とした食事は、心臓病や肥満・糖尿病等の軽減につながると思われます。この様なことから、地域の米や野菜・山菜などの天然素材を生かした自然食を中心とした食事、いわゆるマクロビオティックを生かしたクッキングスクールの開校誘致は図れないか。



マクロビクッキングスクール

答弁1 市では昨年からマクロビオティックを取り入れた料理による交流人口増に取り組んでおり、有機栽培農家も多く、比較的スムーズに事業展開しております。施設作りやクッキングスクール開校も話し合いに出て

おりますが、参画者に頼っている状況です。人があまり目を向けないうちに取り組み事も必要かとも思っております。ただ補助金頼みの考え方では後が続きませんので、真剣な人たちの自発的な考えの中で進めること前に向けていければと思っております。

質問2 悪質な振り込み詐欺事件が、連日報道されており、その額は1日1億円といわれております。十日町市内でも被害が発生しており、定額給付金の支給も予定される中、対策と防止策について伺う。

答弁2 市報や地域の防災無線で注意を呼びかけて防止に努めております。また、日中お年寄りだけになる世帯へは、接する機会が多いケアマネージャーやヘルパーの皆さん方にも協力をお願いしております。ほかに専門の相談員による消費生活相談の窓口を月2回開設しております。

防災グリーンツーリズムの推進について

飯塚茂夫 議員

質問1 泉田知事の100万人

受入れ発言の対応について伺う。
答弁1 全国からの震災支援に対する恩返し、経験還元が大きな責務であると考えております。日頃から都会との交流を深め、絆を作ることが重要であり、農業体験や田舎暮らし体験など様々な交流をさらに進めていくことが必要です。関係団体の意向確認や、全国の事例を参照し、国県からの支援も要望しながら体制整備を進めていきたいと考えております。

質問2 学校給食の地産地消の推進について伺う。
答弁2 当市では市の総合計画の中で、平成23年度までに重量割合で30%という目標を設定し、取り組んでおります。

市内平均の地場産農産物の利用率は、19年度が14.6%であります。利用率には反映されませんが、地元産コシヒカリを100%使用しており、本年度産米から学校給食用に安価で提供頂いております。1月からは地元産コシヒカリの米粉を使ったパンを導入する準備を進めております。小麦粉との差額は市とJAが補助します。

子どもの成長期に安全で安心な食事を提供することは、学校給食の基本です。学校・生産者・

流通を含めた関係団体と協力しながら、子どもたちのために地産地消を進めていきます。

国保資格者証・学校づくりと地域づくり

鈴木和雄 議員

質問1 子供から保険証を取り上げない事については、短期証で対応という事で要望してきた事が実現しましたが、引き続き正規の保険証発行にご尽力願いたい。①資格者証交付で収納率が上がっていない。滞納対策と健康を守る事は別々に考えるべきではないか。②資格者証交付審査委員会に、福祉課や健康支援課も加えるべきではないか何う。

答弁1 ①生活実態、資産実態というものをよく見極めさせていただくながら対応しております。やはり公平性ということとは、私どもが生きていく上で基本的なことであり、出さざるを得ない場合ということでご理解を賜りたいと思います。

②厚生労働省からの通達も含め、検討したいと思っております。

質問2 学校統合で何を、どういう事を育てるのか。また統合しなければならぬ最大の理由

は何か何う。

答弁2 児童生徒の学力保障と社会性の育成のためには、ある程度の人数による集団学習が必要であります。感受性豊かな義務教育期間に、様々な仲間と関わりを持つことは、多くの刺激を受け、社会性や人間関係能力を伸ばすことができると考えております。また、学習面では多様な考え方や意見を出し合うことで、互いに学び合い、つくり上げる授業ができ、学習意欲の高まりが期待でき、今求められている生きる力や向上心を育てることができると考えております。

市内耕作放棄地対策・六次産業室の企画

小嶋武夫 議員

質問1 国より耕作放棄地をなくする指示がされたが、十日町市は対策計画を立てて向かうべき調査だけで終わらないよう、職員自ら現場に足を運び、農家の声を聞く様にすべきである。

答弁1 現在調査が終了し、農業委員の方々と連携しながら集計作業をしております。今後、耕作放棄地の再開解消計画の策

定に入っていくたいと考えております。経営面の検討につきましては、営農、農業経営の専門家である県の農業普及センターあるいは農協の営農指導員などで構成する協議会を立ち上げ、そこに農業者、農業委員の皆さんも参画する中で、方向性を出していくたいと考えております。我々がいくら旗を振っても、関係者がその気にならないとうまくいきません。地域と密接に話し合い、進みたいと思います。



トップブランド米栽培田の巡回

質問2 六次産業振興室の企画において、ブランドコシヒカリを守るには、他地域には真似の出来ない豪雪地をもっと前に表現すべきであり、また酒造会社は地元産米を使用し、ソバや大

豆も十日町産を使い、合わせた十日町ブランドを創るべきだと思いがいか何う。

答弁2 この地域の産物をいかに作っていくか、必要な農産物を作ることが大事であります。できるだけ自分の地域のもので使って製品化することを目指し、本物を作り上げ、こだわりのもった対策をこれからも続けていきたいと思っております。

市の19年度決算の総括と今後について

阿部晃一 議員

質問1 一般会計の決算状況は、財政の硬直化が更に一段と進んでいる。特に経常収支比率が遂に100%を超え、経常的歳入で歳出を賄う事が出来なくなつた。今後の対策について何う。

答弁1 職員500人体制を目標に、引き続き人件費の削減を図るとともに、長期財政計画に沿って、投資抑制を図り、公債費の削減に取り組んでまいります。施設管理については、指定管理者制度を活用するとともに、その他業務の民間委託などを進め経常経費の圧縮を図ってまいります。

質問2 歳出の中で比重の大きい義務的経費と準義務的経費(物件費)が前年対比増えているが今後の取り組みについて何う。

答弁2 500人体制による人件費削減。消耗品や光熱水費の節約徹底、借地の見直しなど、事務事業を再点検する中で抑制していききたいと考えております。

質問3 20年度決算から特別会計も含む連結決算での公表となり、又国の評価基準も一層厳しくなるが、財政健全化に向けて今後どの様に取り組むのか何う。

答弁3 簡易水道事業や下水道事業に係る施設整備事業の減少により、地方債高が減額。また、簡易水道事業と上水道事業を統合することにより、簡易水道事業の高料金対策に対する繰入金がなくなるとともに、未普及地域解消事業に係る建設改良費への繰入金が減少いたします。

今後の地域医療充実と堆肥センター

川田一幸 議員

質問1 十日町地域中核病院構想策定の目的は何の為に作られたのか。

答弁1 早期改築に向け、十日町圏域に望まれる中核病院の姿をまとめたものであり、新十日町病院の建設構想案の策定に際して尊重されることを期待したものであります。

質問2 医療機関の連携は必要不可欠であるが、その為の話し合いは行っているのか。

答弁2 他の医療機関との連携は不可欠であり、医療機関相互の役割分担のあり方についても、その手法等も含めて検討していく必要があります。予防やリハビリ等、退院後のケア体制など保健分野や介護、福祉といった面でも医療と密接な連携が必要となつてきますので、地元医師会や福祉団体とも連携を深めていきたいと考えております。

質問3 堆肥についてはどのような堆肥が求められているのか。又、これまでの方法を変える考えはないか。

答弁3 農家が求めるものは、悪臭がなく、病原菌、寄生虫卵、雑草種子などが死滅していること、生育阻害物質を含まないことを掲げています。期待する特性は、土壌改良効果の大きさ、安価、肥料効果の大きさ並びに機械散布のし易さ、取扱性の良さを掲げております。これまで

土づくりに有効な資材としてとらえてきましたが、肥料成分を考慮した施肥体系を確立することが重要になってくると考えております。



堆肥の機械散布

高規格道路と 十日町病院用地について

宮嶋正一 議員

質問1 高規格道路に対する市長の見解について

答弁1 当市の経済活動の発展をはじめ、市民の福祉や利便性の向上に欠かすことの出来ない重要な道路であります。十日町市総合計画や十日町市都市計画マスタープランにも、新市の道路交通体系の主要幹線として、まちづくりの重点項目に位置

づけております。早期開通に向け関係機関と協力しながら努力しております。

質問2 高度医療ゾーンを含めた土地利用計画の今後の進め方について

答弁2 基幹病院は魚沼市に建設されることになり、中核病院の役割を担う十日町病院が現在地に建設される場合は、インターチェンジ周辺計画の高度医療ゾーンを見直す必要があると考えております。

質問3 同意書に対する市長としての責任の取り方について

答弁3 同意書の返還を求める発言は、地権者の総意とは受け止めておりませんでした。また、当時は場所については凍結と申し上げ、市の考え方が大きく方針転換するとは想定しておりませんでした。しかし、小黒沢の地権者や役員の方々には、震災後に用地の提供をお願いし、はや4年になります。この間ご心配やご心労をおかけし、改めてお詫び申し上げます。

今後も誠意をもって対応させていただきます。ご理解を頂けるよう努力してまいります。

常任委員会 審査結果

提出された議案のうち、それぞれの常任委員会に付託され審査した議案と、その結果は次のとおりです。

総務常任委員会

- ◆十日町市税条例等の一部改正
- ◆十日町市建設基金条例の一部改正

- ◆指定管理者の指定（三省地区コミュニティ施設・上布川地区コミュニティ施設）

いずれも原案どおり可決しました。

建設企業常任委員会

- ◆市道の廃止
- ◆市道の変更
- ◆市道の認定
- ◆指定管理者の指定（十日町市利雪親雪総合センター）

いずれも原案どおり可決しました。

産業環境常任委員会

- ◆十日町市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
- ◆指定管理者の指定について（十日町市駅通り駐車場）ほか全14件

いずれも原案どおり可決しました。

社会文教常任委員会

- ◆十日町市文化財保護条例の一部改正
- ◆十日町市立保育所条例の一部改正
- ◆十日町市へき地保育所条例の一部改正

- ◆指定管理者の指定について（吉田保育園）ほか全10件
- いずれも原案どおり可決しました。

（指定管理者の施設については、議決結果をご覧ください。）

◆日本共産党 十日町市議団

『平成21年度予算要望』

国民いじめの「構造改革」は、大企業が、景気のいい時には正社員を派遣や期間工に書き換えて大儲けをし、悪くなったら真つ先に切り捨てる今日の状況や、社会保障の切り捨て、食の安全・安心を脅かしている農業の衰退など、貧困と格差の拡大は地域経済と市民生活に大きな影響を与えています。党市議団は、「住民こそ主人公」「市民の苦難を解決する」これが原点であります。市民の要望をもとに、市長に申し入れを行いました。（12月18日）その主要望事項をお知らせいたします。

一、安心できる生活環境の整備と地域づくり

地方交付税の増額などを政府に求め、地方財源確保のため力を尽くす事。安定的な農業が続けられるようにM A米の輸入中



確保、及び集落安心づくり事業の充実と拡大。市道除雪の住民負担をなくすること等を要望した。

市民の皆さんと共に力を合わせ今後とも全力で頑張ります。どうぞ宜しくお願いします。

◆市民クラブ

市民クラブでは、自由闊達な意見を述べ合い、風通しのよい政策協議に向けた取り組みをおこない、主に地域医療（十日町病院）や環境対策（農業・臭気・バイオマス）また、水問題（信濃川・清津川）や議会改革（議員定数削減）などを重点項目に掲げて調査研究をしてまいりました。

十日町病院問題では、知事が公設民営化推進と言われる中で、市民クラブとしては、市が「厚生連」ありきとした要望書の提出には同調せず、限りなく現在の運営形態で継続が出来るよう働きかけをおこなっております。環境問題では、養豚臭気対策や生ゴミの堆肥化などの先進地視察や研修などを通じて、地域の皆様の期待に応えていきたいと思っております。

また、6月の定例議会では、J Rの放流量や発電量の情報公開を求めたことが発端となり、幾多の不正行為による、数値の改ざん問題が発覚いたしました。

今後信濃川や清津川の減水問題はもとより、護岸整備や水辺環境など流域住民のより安全で快適な生活確保に向けて関係機関に働きかけるとともに、人口5万から10万人規模の議員数は、全国で最も多いとされる「議員定数の削減問題」こそ、市民皆様の期待は大きく、連携協議を図りながら「市政の改革発展」に寄与いたす所存ですので、何とぞ宜しくお願いいたします。



市民クラブの京都市伝統産業視察（堀池課長と京都市勤業館前にて）

12月議会

一般会計補正予算・ 主な事業

（補正第6号）

○協働のまちづくり推進事業

（総合政策課）

「協働のまちづくり推進指針」を作るため、市民プロジェクト委員と職員プロジェクトチームとで合同会議を開催します。

○難視共聴施設整備事業

（地域情報化推進室）

3年後の平成23年7月にテレビのアナログ放送が終了し、地上デジタル放送だけになるため、共聴組合の施設更新等に対し支援するものですが、当初見込みに比べ今年度の取り組みが10分の1となり予算の減額をします。

○地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金事業（福祉課、産業振興課、教育総務課）

国の第一次補正予算の成立を受け、交付金を財源とし、従来からの要援護世帯に対する屋根雪除雪支援と同様に、新たに、融雪屋根の世帯についても一冬3万3千円の支援を行います。

また、保育所・学校の施設修繕や備品購入などにより、保育・

12月定例会議決結果

市長提出議案

件 名	議決結果
人権擁護委員候補者の推薦	同 意
物品購入契約の締結（庄雪車）	原案可決
十日町市税条例等の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市建設基金条例の一部を改正する条例制定	原案可決
指定管理者の指定（三省地区コミュニティ施設及び上布川地区コミュニティ施設他）	原案可決
市道の廃止（ おぎだて いとも 沖立伊友線）	原案可決
市道の変更（ せん の やま 仙之山1号線、他1路線）	原案可決
市道の認定（仙之山5号線、他1路線）	原案可決
十日町市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市文化財保護条例の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市立保育所条例の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市へき地保育所条例の一部を改正する条例制定	原案可決
平成20年度十日町市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
平成20年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
平成20年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第3号）	原案可決
平成20年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
平成20年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決

平成20年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
平成20年度十日町市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
平成20年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成20年度十日町市水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
物品購入契約の締結（ロータリ除雪車 十日町地域）	原案可決
十日町市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定	原案可決
平成20年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）	原案可決
平成20年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
平成20年度十日町市水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決

議会提出議案

道路整備財源の確保等に関する意見書	原案可決
W T O農業交渉に関する意見書	原案可決
郵政民営化法の見直しに関する意見書	原案可決
薬害C型肝炎・ウィルス性肝炎患者の救済に関する意見書	原案可決

請 願

郵政民営化法の見直しに関する請願	採 択
ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願	採 択
C型肝炎被害者の救済の意見書採択に関する請願	採 択

指定管理施設一覧

指定管理者の指定（三省地区コミュニティ施設及び上布川地区コミュニティ施設）以下、施設名のみ掲載
（利雪親雪総合センター）（駅通り駐車場）（川西有機センター）（仙田体験交流館）（希望館、おふくろ館、そば道場、ばーどがーでん）（そば処ほほえみ）（エデンの花畑、特産品生産・加工・販売施設）（大蔵寺畜舎、大蔵寺牧場）（職業訓練施設）（サンクロス十日町）（越後妻有交流館キナーレ）（珠川ネイチャーカレッジ、ナトゥーラ）（中里ふるさと館、清津峡渓谷歩道トンネル、ミオンなかさと、ゆくら妻有）（まつだいふるさと会館）（松之山温泉スキー場、鷹の湯、翠の湯、大蔵寺高原キャンプ場）（吉田保育園）（水沢南部保育園）（新座保育園）（身体障害者福祉センター）（川西高齢者コミュニティセンター）（中里デイサービスセンター）（ほのぼの園、つるかめ園、ゆうゆう荘）（松代ゆうあいセンター）（総合体育館、市民体育館、武道館、市民スポーツハウス、笹山野球場、城ヶ丘テニスコート、信濃川運動公園、青少年運動広場、水沢運動公園、陸上競技場、市民プール、十日町総合公園）（吉田ふれあいスポーツセンター）

- 教育環境の改善を図るほか、制度融資関係で、事業者が新潟県信用保証協会に支払う保証料に對しての補助金について、その補助率を50%のもの75%に引き上げます。
- 障害者自立支援特別対策事業（福祉課）
障害者自立支援法の制度の啓発を進めるため、パンフレットの作製、説明会の開催、ホームページの作成等を行います。
- 十日町雪まつり補助金（観光交流課）
十日町雪まつりは第60回の節目を迎えましたが、震災復興基金補助金などが減額するなか、事業費を前年度並みに確保すべくさらに市の支援を行います。
- 可燃性天然ガス測定事業（観光交流課）
温泉法の改正に伴い、市有の源泉15ヶ所のうち11ヶ所から可燃性天然ガスが発生していることが判明したため、源泉を引き込んでいる貯湯槽についても調査をします。
- 駅西土地区画整理事業（区画整理室）
国の第一次補正予算により、駅西地区画整理事業に補助金の予算付けがされたため、事業の進捗を図ります。

【10月】 October

- 17日 建設企業常任委員会
- 20日 全員協議会
- 議会運営委員会

【11月】 November

- 10日 社会文教常任委員会
- 12日 全員協議会
- 議会運営委員会
- 産業環境常任委員会
- 議会運営委員会

【12月】 December

- 1日 震災復興・豪雪等災害対策特別委員会
- 5日～15日 平成20年第4回定例会
- 5日 本会議（諸般の報告・特別委員会中間報告・議案審議）
- 9日～11日 本会議（一般質問）
- 11日 議会運営委員会
- 12日 総務常任委員会
- 建設企業常任委員会
- 産業環境常任委員会
- 社会文教常任委員会
- 本会議（常任委員長報告・追加議案審議）
- 15日 全員協議会

22日

- 水資源対策特別委員会
- 全員協議会
- 社会文教常任委員会



総務常任委員会

議会傍聴者

12月5日から15日までの12月定例会期間中に、延べ人数で44人の方が傍聴に来場されました。（傍聴者名簿記載分）

議会の傍聴においでください

- 次の議会（3月定例会）は、3月4日に開会予定です。詳しい日程は議会事務局に照会してください。（☎025-757-3119・市のホームページにも掲載します。）
- 議場は市役所3階です。入口で住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。

お気軽にお出かけください。

議会レポート

REPORT 1
雪対策の現状を視察しました。

「震災復興・豪雪等災害対策特別委員会」では、去る12月1日、雪対策の現状と課題及び計画を把握するため、流雪溝施設の現状視察と、雪害予防の計画等について、担当より説明を受けました。

現地では、まず川西地域の仁田^た地内と下原^{したはら}地内を視察。平成19年に水利権を得て、五升苗ダム北沢川第一頭首工より毎秒0・156³m取水し、12月1日から3月10日まで最大44回、4時間の運用時間により、仁田・野口^{のぐち}地区の160戸が利用中です。下原地内は現在整備中で、完成するとさらに16戸の利用が見込まれるとのことでありま

す。室野^{むろの}・福島地区は、平成3年稼働開始。福島地内^{しほみがわ}渋海川右岸より毎秒0・172³m取水し、自然流水により利用可能日を町内ごとに指定し、3日おきで108戸の利用であ



松代地区流末処理の確認

ります。松代地区は、昭和48年より稼働、新千年大橋^{ちとせ}下流よりポンプにより毎秒0・083³m取水し、利用可能時間帯の指定により、157戸が利用しています。現地視察後は、松代支所において、雪害予防計画実施要領及び各地域における雪対策の現状と課題等について、防災安全室、克雪維持課及び各支所の農林建設課より説明いただき、重機オペレータや保安要員の高齢化対策、集落配置小型除雪機の活用問題に加え、除雪業者の待機補償や、除雪車出動基準の見直し等について意見交換を行いました。

あとがき

明けましておめでとうござい
ます。深刻な社会・経済状況の
なかで年を越しましたが、今年
は良い年になるよう願ってやみ
ません。

この4月に、市長選と同時に
市議選も行われます。改めて議
会とは、議員とは、その役割が
問われます。地方自治法では
第6章に「議会」としてその組
織や権限などが決められていま
す。条例の制定や予算決算の議
決、そして行政に対する調査、
チェック機能などがあります。

大事なことは、議員は市民か
ら選出された市民の代弁者であ
り、その意見や願いを市政に反
映することだと思えます。

幕末の長岡の偉人、河井継之
助の色紙を友人よりいただきました。
「民者國之本、吏者民之隸^{ふくせいしんのこ}」（民は国の本、役
人は民の雇い人。西洋人の語
るを記録す）の意とありまし
た。河井継之助は全国を旅して
学び、日本の平和的改革を模索
しましたが、維新の武力制圧に
抵抗し地方の誇りと自立をかけ
て戦い敗れました。

激動の時代に想いをよせなが
ら、住民本位の地方分権と自立
のまちづくりを考えました。

安保寿隆